

札幌市内中国人観光客の交通利用に関する研究

Study on transportation of Chinese tourists in Sapporo city

北海道大学工学部環境社会工学科

○学生会員

趙 拓 (Taku Chou)

北海道大学大学院工学研究院教授

正会員

高野 伸栄 (Shinei Takano)

1・Introduction

札幌は多くの観光スポットをかかえる日本有数の観光地である。平成29年度に札幌を訪れた外国人宿泊者数は約257万2千人で、6年連続で過去最多となり、前年度の約209万3千人と比較すると22.8%の増加となった。その中に中国からの観光客が61万9,360人で最も多く、前年度と比較すると22.3%の増加となった。

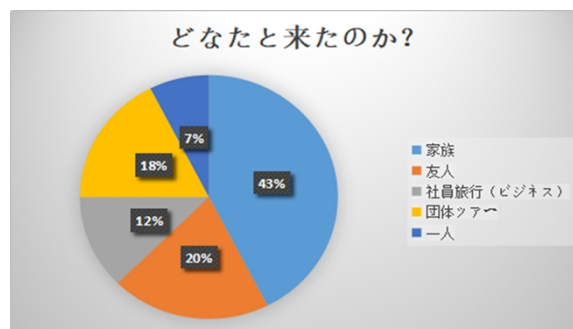
このような背景で、中国人観光客が札幌を訪れた理由や周遊先など札幌観光の現状を把握する上で、中国人観光客の視点から札幌市内の交通インフラの満足度や問題点についてアンケート調査を行いました。本調査では北大構内や札幌駅で出会った中国人観光客を対象に、回答者基本属性（年代、性別、渡航経験）、旅行パターン、札幌で訪れた（訪れる予定）の観光スポット、札幌市内の移動方式、交通インフラの満足度と問題点などの項目を調査した。

アンケート用紙は中国人観光客を分かりやすくするために、日本語ではなく、中国簡体字版を準備し、アンケートを実施した。

調査結果は分かりやすくするために、回答者基本属性、旅行パターン、札幌市内の交通利用の3つに分けて集計を行った。

(2) Traveling pattern

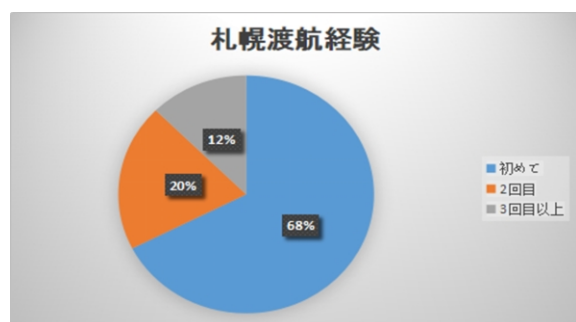
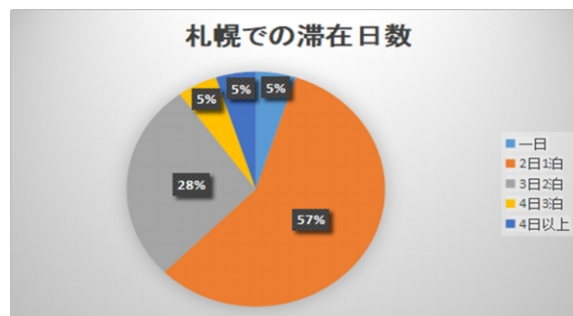
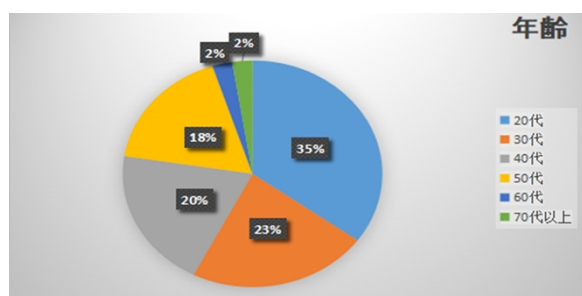
旅行者がとたと来たかという、「家族」が43.0%(17)で最も多く、次いで「友人」が20.0%(8)となっていた。滞在日数が「2日以下」の人は全体の6割以上(25)を占める。また、旅行形態は「道内の周遊旅行」が最も多く7割以上(29)を占める。札幌を訪問する理由の1位が「グルメ・買い物」であり、2位が「夜景を見る」ためである。人気な観光スポットは札幌駅周辺「北大」とすすきの周辺の「狸小路商店街」である。

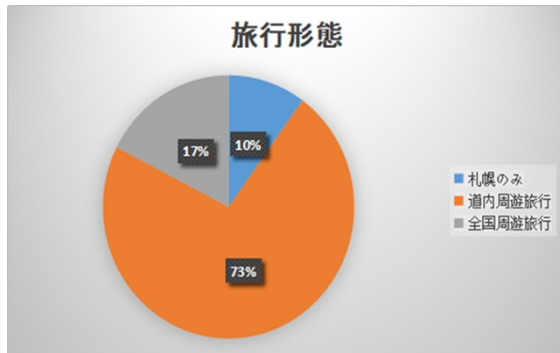


2・Questionnaire survey

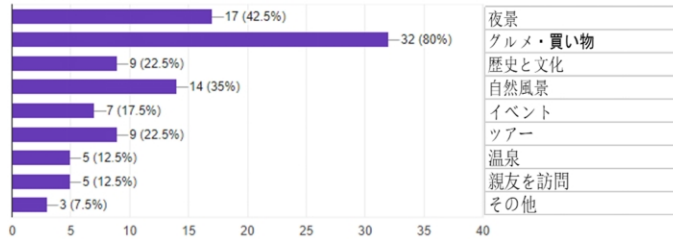
(I) Respondent attribute 回答者属性

今回の調査では有効回答が合計40人（男性22人、女性18人）で、男女比は概ね5割ずつである。「20代」が35.0%（14人）と最も多く、20～40代（31人）で回答者の約8割を占める。また札幌に初めて来た人は全体の約7割（27人）を占める。

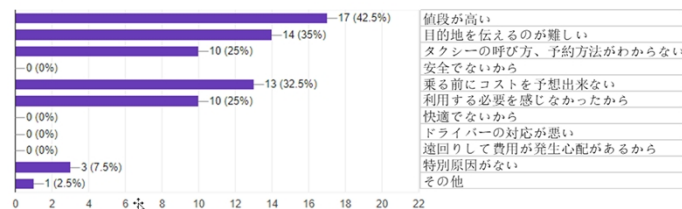




札幌を訪問する理由

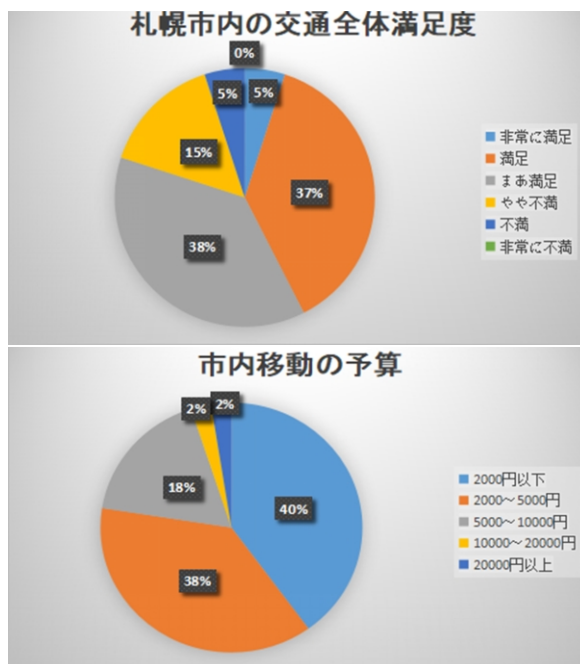


タクシーを利用して不満を感じる(利用しなかった理由含む)【複数回答】

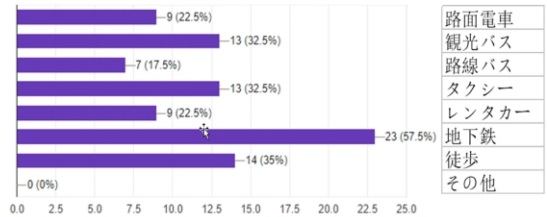


(3) City traffic using and satisfaction level

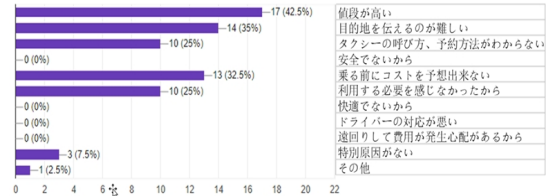
市内交通の利用満足度について、8割以上の人が「満足」(まあ満足以上)である。札幌市内交通に使う予算(一人当たり)は5000円以下と回答した人は全体の約8割を占める。最も多く使われる交通機関は地下鉄で、全体の約6割の人が利用したがある。そして、タクシーを利用しない(不満を感じる)理由として、「コストが高い」が一番で、次いで目的地を伝えるのが難しいと乗る前にコストを予想出来ないである。



札幌市で利用した交通機関【複数回答】



タクシーを利用して不満を感じる(利用しなかった理由含む)【複数回答】



3. Study and future analysis

札幌市の人気スポットはいずれも札幌市内中心部にあり、料金が安い地下鉄、また徒歩でさえ簡単にたどり着ける。観光客のほとんどが3日以内に滞在する予定で、多くの観光スポットを訪問する予定がなかった。そのため、料金が安い公共交通機関が彼らの要求を満たし、タクシーの必要性が感じなかった。またタクシーを予約することや目的地を伝えることは日本語がわからない中国人観光客にとって難しいので、利用したい人が更に減ってしまう。今後の課題はこのような問題点を分析することで、タクシーの利用向上するための改善策を提案することである。